

日本伝熱学会関西支部 第 31 期定時総会・特別講演会 第 32 期第 1 回講演討論会のお知らせ

下記の通り対面で開催いたします。奮ってご参加ください。

日 時 : 2025 年 4 月 25 日 (金) 13:00~17:45

会 場 : 梅木 Y ホール (神戸大学深江キャンパス)

〒658-0022 兵庫県神戸市東灘区深江南町 5 丁目 1 - 1

<https://www.ocean.kobe-u.ac.jp/access/>

13:00~13:30 関西支部第 31 期定時総会

13:35~13:40 特別講演会 / 講演討論会 開会挨拶

13:40~15:45 特別講演会

13:40~14:40 須賀 一彦 氏 (追手門学院大学, 大阪公立大学名誉教授)

題 目 : Whither Turbulence Modelling?

(From Where to Where)乱流モデリングは何処から何処に向かうのか

概 要 : 講演者が過去 40 年近くライフワークとして携わってきた乱流の数学モデリングについて講演する。そこでは、学術的な内容だけでなく、学会等における講演者の人的交流の秘話も交えながら、過去の学術的歴史と (わずかだが) 著者の果たした役割について概説し、今後どのように進展していくのかについて、私的展望を述べる。

14:40~14:45 休 憩

14:45~15:45 木戸 長生 氏 (パナソニック)

題 目 : 商品開発と伝熱研究を振り返って

概 要 : 42 年間の企業勤務 (松下冷機 (株)、松下電器産業 (株)、パナソニック (株)) での商品開発や事業開発において、伝熱や熱交換がポイントになる技術開発を数多く実施してきた。この中から代表的な研究開発事例として、エアコン用水平内面溝付管内の蒸発熱伝達、フィンチューブ熱交換器の性能計算、液体熱搬送を利用したペルチェ冷却システム、小型ランキンサイクル排熱発電システムを振り返る。

15:45~15:55 休 憩

15:55~17:25 第32期第1回講演討論会

15:55~16:40 蓬萊 岳登 氏 (株式会社ノーリツ)

題 目 : 水素 100%燃料給湯器の開発と今後の展望について

概 要 : 脱炭素を実現する一手として注目されている水素エネルギー。ガス給湯器業界においても天然ガスや液化石油ガスの化石燃料に代わるクリーンな燃料として水素ガスが注目されている。弊社では従来ガス給湯器の使い勝手を維持しつつ、水素ガスを燃料として安全かつ安心してお湯を沸かす技術の獲得について取り組んできた。本講演ではその取り組みと今後の展望について紹介する。

16:40~17:25 浮田 芳昭 氏 (兵庫県立大学)

題 目 : マイクロ流体によるバイオプロセスの自動/自律制御への挑戦

概 要 : マイクロ流体システムはバイオ・ケミカルプロセスの小型化・高機能化・低廉化に貢献する技術として活発に研究が行われている。本講演では、これまで我々が開発に取り組んできた簡便な小型抗原検査システムと、この関連技術について紹介する。また、近年様々な分野での活用が模索されている機械学習の、マイクロ流体システムへの適用を検討した成果についても紹介する。

17:30~17:40 写真撮影・閉会挨拶

18:00~ 意見交換会

会 場 : 神戸大学深江キャンパス生協
(<https://www.kucoop.jp/info/>)

会 費 : 4,000円(税込) 程度

神戸大学深江キャンパス 交通アクセス

- 阪神電車「深江駅」から徒歩 10 分
(<http://www.k-obec.kobe-u.ac.jp/access/>)